

山域	北アルプス南部 明神岳東稜
日程	2018/08/05-06
メンバー	タマキチ 榎本師匠



明神岳東稜行ってきました。13年ぶりに山の師匠、榎本氏から連絡があったのは6月。昔話もそこそこに、無謀な山計画で盛り上がる。1泊するところをワンディで行こうと言う。白峰三山が第一候補。だが、二人なら4尾根から行こうと言い出す。イヤだよおノーザイルは！崩壊したし懸垂必至。蝶・常念のワンディを提案するも響かない様子。で、前穂北尾根のワンディが浮上。これもノーザイルらしい。勝手知ったるだから行けるかな？とも思ったが、上高地前泊なら明神岳主稜に心が傾く。ここは互いに未踏。調べると懸垂必至。どうせザイル担ぐなら東稜から登攀し、主稜を下降しようと固まった。案外、記録もあって参考になる。大方は12時間行程、小梨に前泊+デポすれば余裕だぜ！

8/5 夜勤明けに鞭うって 12 時集合。16:30 に上高地着。ディパックに手提げ 3 つぶら下げ、いかにもキャンパー。小梨平にテント張って、惣菜つまみに昔話に花が咲く。

8/6 2:30 起床 3 時前出発。互いに牽制、じゃなく鼓舞してるのか、まるで競歩。25 分で明神に到着。おかげで分岐に気付かず 20 分のロス。まだまだ真っ暗、虫もいない。ここから急なガレの登りになる。師匠は相変わらず競歩の選手。やめやめ、マイペースで行こう。しだいに明るくなると、ブヨも出てきた。樹林帯も抜け概要が分かり意欲も出てくる。休憩を交え、6:16 ひょうたん池に着。のんびり登攀準備。したものの藪漕ぎばかりで岩は見えない。第一階段は緊張したがザイルは不要。そろそろバトレス出現？かと思いきや緑のハイマツが続いてる。高温と水消費にやられ始める。っと岩壁基部の脇に雪渓を発見！迷いなく直行。手・顔を洗い、かき氷を貪り喰う。予定に反し 30 分も滞在してしまった。ま、この時点で主稜の下降は消えていた。こんなハイマツ下りは勘弁よ。2 峰の登り返しもあるし。前穂～岳沢の一般道で行けば生ビールも呑める。

さておき、登攀を楽しもう、9 時ころ。1P エノちゃんリード。先の岩壁に苦戦してる。選手交代、玉木リード。ま、アプローチシューズだから緊張したが難なく突破。フッフ、成長見せられて大満足、ドヤ顔！2P までザイルを延ばし 3P エノちゃんリード。凹角の易しそうなところに行く。私はフォローだし、立ったクラックを行かせてもらう、チョー楽しい。雪渓で追加の水を得たので頂く、まじウマ。4~6P はノーザイルで行く。フル装備ならシンドイところだろうが、空身の強さよ。10:50 明神岳登頂。快晴で前穂～槍？まで見渡せる。前穂までも遠そう。しかし、主稜にはナビかない。なにせ一般道。これが甘かった。急なガレ下りを強いられる。懸垂ポイントもあったが、すべてクライムダウン。心身ともに疲れ果てそう。鞍部からの登りでは足が重くって堪えた。12:15 前穂高岳登頂。やはり水が旨い。でも、待っているのは岳沢の生ビール！重い腰を上げ下りに入る。14:10 岳沢着。生ビールはジョッキで乾杯+缶氷結まで呑んじゃって。ふらつきながら小梨平に帰着。撤収して上高地へ下山した、16:36。

明神岳はバリエーションでしか登頂できないらしい。が、夏でないことだけは確信した。秋か、残雪のころが適期でしょうね。フフ、5 月の行きたいルートを見出しちゃった。榎本師匠ありがとうございました。また、どこかへ参りましょうぞ。

報告 タマキチ